

# 天理市埋蔵文化財センターだより Vol.17

## 第I部 平成24年度 発掘調査速報展

ノムギ古墳

## 平成25年度冬の文化財展

『発掘の現場から -地下に眠る天理の昔々-』

## 第II部 天理市内の古代官道

### ◎平成25年度冬の文化財展

第I部 平成24年度発掘調査速報展

第II部 天理市内の古代官道

平成26(2014)年2月8日(土)~3月2日(日)

※ 9:00~17:00

※ 10日(月)、11日(火祝)、17日(月)、24日(月)は休館

天理市文化センター  
1階展示ホールにて

### ◎文化財講演会と展示解説

2月16日(日)14:00~

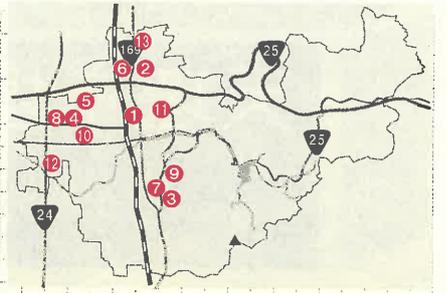
1階展示ホールにて

天理市教育委員会文化財課がこれまでに実施した市内の遺跡の発掘調査により、多くの成果が得られてきました。それらの成果の一部について、平成18年度より夏と冬、年2回の文化財展示をおこない、市内の埋蔵文化財について理解を深めていただけるように努めています。

今回の「センターだより」は平成25年度冬の文化財展の内容にあわせ、「平成24年度発掘調査速報展」と『天理市内の古代官道』の2部構成とし、これまでの発掘調査による成果をご紹介します。

# 第I部 平成24年度発掘調査速報展

天理市教育委員会文化財課は市内遺跡を対象とした発掘調査を実施しています。今回は平成24(2012)年度におこなった13件の発掘調査の成果をご紹介します。



- ①山の辺第1工区 土地区画整理事業に伴う調査
- ②柿本寺跡第4次
- ③成願寺遺跡第19次
- ④小路遺跡第4次
- ⑤名阪道路(天理地区)
- ⑥ノムギ古墳第6次
- ⑦長寺遺跡第18次
- ⑧小路遺跡第5次
- ⑨西乗鞍古墳第3次
- ⑩平等坊・岩室遺跡第35次
- ⑪別所丹波市線事業に伴う調査
- ⑫嘉幡遺跡第3次
- ⑬和爾森本遺跡第5次

## ノムギ古墳 第6次

のむぎこふん

6



期間 平成24年9月19日～平成24年11月9日



ノムギ古墳測量図

ノムギ古墳は大和古墳群の北端に位置する全長63mの前方後方墳です。大和古墳群基礎調査の一環として平成21年度から範囲確認調査をおこなっています。



後方部で見つかった近代以降の施設

おおやまこふんぐん

平成24年度に実施した第6次調査では、後方部と前方部が接続するくびれ部の位置が判明し、前方部の形状を知る手がかりが得られました。後方部の中心付近には近代以降の大型施設が造られていた一方で、古墳そのものの埋葬施設は見つかりませんでした。

## 山の辺第1工区 土地区画整理事業に伴う調査

やまのべだいいちこうくとちかくせいりじぎょう

1



期間 平成24年4月9日～平成24年6月12日

土地区画整理事業に伴い田部町内で調査をおこないました。事業地の北端に当たる場所で、従来南側で検出してきた縄文～古墳時代の谷地形の肩となる安定的な地盤を検出しました。この地盤が、現在の田部町集落が立地する台地につながると考えられます。

## 柿本寺跡 第4次

しほんじあと

2



期間 平成24年7月27日～平成24年9月1日

宅地造成に伴い櫛本町内で調査をおこないました。柿本寺の旧境内において石組みによる池など中世の庭園遺構が確認されました。



## 成願寺遺跡 第19次

じょうがんじいせき

3



期間 平成24年8月3日～平成24年8月10日

携帯電話基地局建設に伴い萱生町内で調査をおこないました。現地はヒエ塚古墳の南側に位置し、県道バイパス建設時に平安時代以前の谷地形が見つかった地点に面していますが、今回の調査でも奈良～平安時代の谷地形と中世の耕作痕跡を確認しました。

## 小路遺跡 第4次

しょうじいせき

4



期間 平成24年8月20日～平成24年9月6日

宅地造成に伴い調査をおこないました。隣接地の市道建設に伴う調査時と同様に、古墳時代の居住域の一部が見つかりました。



## 平成24年度 名阪道路 (天理地区)

めいはんどうろ(てんりちく)

5



期間 平成24年8月22日～平成25年1月19日

道路拡幅に伴い喜殿町から南六条町にかけて調査をおこないました。喜殿町では中ツ道の東側溝と見られる平安時代以前の溝が見つかりました。また、南六条町内ではこれまで知られていなかった古墳の周濠などが検出されました。

## 長寺遺跡 第18次

おさでらいせき

7



期間 平成24年9月24日～平成24年10月8日

宅地造成に伴い櫛町内で調査をおこないました。遺跡内では最も北寄りでの調査となりましたが、弥生時代中期後半の遺構が多く確認されました。また、ほぼ南北方向に走る飛鳥時代の溝も見付き、南方に位置する長寺廃寺との関連が注目されます。

## 小路遺跡 第5次

しょうじいせき

8

宅地造成に伴い第4次調査につづいて調査をおこないました。古墳時代居住域が遺跡北部に広がる可能性が出てきました。



期間 平成24年12月10日～  
平成24年12月13日



調査風景

## 西乗鞍古墳 第3次

にしりのくらこふん

9

石碑移設に伴う調査を西乗鞍古墳の後方部でおこないました。小面積の調査でしたが、墳丘の土層を確認することができました。



期間 平成25年1月15日～  
平成25年1月16日



## 平等坊・岩室 遺跡 第35次

びやうどうぼう・いわむろいせき

10

宅地造成に伴い平等坊町内で発掘調査をおこないました。調査地は第28次調査地のすぐ東側で、同調査で検出された流路の続きが今回の調査でも検出されました。流路は、縄文時代晩期から奈良時代までの千数百年間、何度か位置を変えつつ流れ続けたようです。



期間 平成25年2月4日～  
平成25年3月9日

調査風景

## 平成24年度 別所丹波市線

べっしょたんばいちせん

11

市道別所丹波市線事業に伴い豊田町内で調査をおこないました。弥生～中世の各時代の遺物が出土しました。



期間 平成25年3月6日～  
平成25年4月16日



## 嘉幡遺跡 第3次

かたはいせき

12

店舗建設に伴い調査をおこないました。平安時代の溝が見つかったほか、弥生～中世の遺物が出土しています。



期間 平成25年3月12日～  
平成25年4月5日



調査風景

## 和爾森本遺跡 第5次

わにもりもといせき

13

工場建設に伴い調査をおこないました。弥生時代後期の溝や古墳時代前期以降の集落遺構、西半では古墳時代後期までの流路を検出しました。弥生時代の溝と西半の流路からは特に多くの遺物が出土し、流路からは土器類の他に木製品も多く見つかりました。



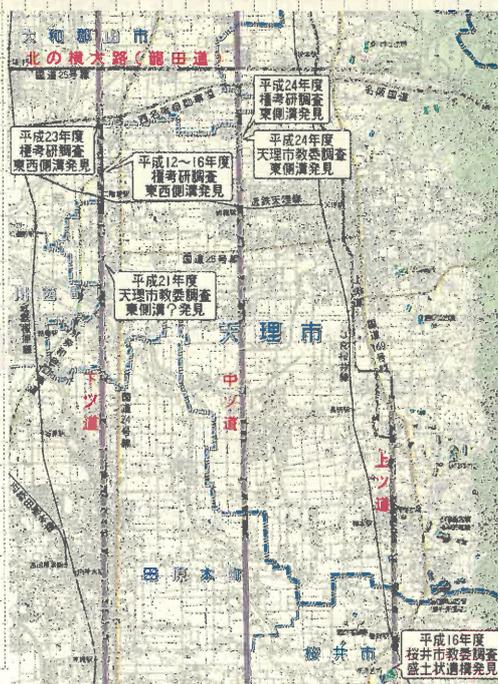
期間 平成25年3月18日～  
平成25年4月27日

## 第Ⅱ部 天理市内の古代官道

『日本書紀』には613年に「難波から京(飛鳥)に至る大道」を敷設したこと、653年に「処々の大道」を修繕したと記されています。7世紀の初頭～半ばに国家事業として大規模に道路が整備されたことを示し、このような道を学術的には「官道」と呼んでいます。奈良盆地では全国に先駆けて官道網が整備され、そのうち南北の下ツ道・中ツ道・上ツ道が天理市内を通過していました。このほか、東西の「北の横大路」も本市内を通過していたと推定されています。

### 古代官道の遺構

天理市内では下ツ道と中ツ道の発掘調査事例が増えてきています。下ツ道の遺構は南六条町・中町・二階堂南菅田町で確認されました。特に南六条町から大和郡山市八条町にかけての発掘調査では、幅23.1mに及ぶ道路が長さ約130mにわたって検出され、東側溝は幅6～12mと非常に大きなものであったことがわかりました。中ツ道の遺構は喜殿町で確認されました。見つかったのは東側溝と路面東端部分ですが、東側溝は幅2.2～6.5m以上の大きさです。



## 古代官道と土地利用

奈良時代には、耕地面積を正確に把握するために農地が一辺109mの碁盤の目に区画整理されました。これを条里制と呼びますが、奈良盆地では下ツ道を南北の基準線として区画整理が行なわれました。また、平城京では下ツ道を拡幅して朱雀大路とするなど、官道には土地利用や都市計画の基準線としての役割もありました。

このほか、官道が当時の行政単位である国・郡・里の境となることも多く、それが現在の都道府県・市町村・大字などの境に引き継がれている例が全国的に見られます。天理市内でも官道が大字の境となっている所が多く見られ、中でも下ツ道は本市と大和郡山市・磯城郡川西町との境にもなっています。

## 古代官道の“その後”

天理市を通る3本の官道は、都が現在の京都府に移ると「首都高速道路」の地位を失いますが、その後も吉野などへの参詣に利用されるなど、近畿地方の主要道路として利用され続けました。現在は道幅も狭くなり、往時の偉容とは比べるべくもありませんが、上ツ道は上街道、中ツ道は橋街道、下ツ道は中街道と名前を変え、今なお私たちの生活の中に生き続けています。



現在の下ツ道



■二階堂小学校で検出した下ツ道東側溝(上が北)



■喜殿町で検出した中ツ道東側溝

# 出勤！ 発掘現場レポート！！

## 平成25年度上半期の調査

天理市教育委員会は平成25(2013)年度上半期に発掘調査を3件実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

### ■柿本寺跡第5次

共同住宅建設に伴い樺本町内で調査をおこないました。古墳時代中期から後期にかけての埴輪が多数出土しました。

### ■前栽遺跡(試掘調査)

前栽小学校立て替えに伴い新校舎予定地で試掘調査をおこないました。現在の運動場部分は数十年前まで低湿な土地だったようです。

### ■成願寺遺跡第20次

個人住宅建設に伴い萱生町内(ヒ工塚古墳北側)で調査をおこないました。古墳時代中期の遺構が見つかりました。



■平成25年度上半期の調査遺跡



■柿本寺跡第5次  
遺物出土状況

平成25年度の調査成果は  
来年度の冬の文化財展で  
展示するよ！



※「天理市埋蔵文化財センターだより」Vol.18は、平成26年度夏発行予定です。お楽しみに！！

発行◆天理市教育委員会 文化財課  
天理市埋蔵文化財センター  
〒632-0017 奈良県天理市田部町320  
Tel・Fax 0743-65-5720  
印刷◆ 憐天 啓